

ねんりん新聞

令和6年 夏号

茹だるような暑さが続く中ではありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度の立秋は8月7日。暦の上での秋の始まりになります。とはいえ秋の足音は未だ遠く、蒸すような暑さは和らぐ気配がありません。夏はもう少し続きそうですね。

ケアハウス新聞の名前が、**ねんりん新聞**に決まりました。白銀会理事長 荒川三千竹の命名となります。大樹の年輪のように、皆様の生活や思い出を刻んでいきたいと思ひます。

さて、ケアハウスでは今季もたくさんの行事に励みました。その様子をお届けしたいと思います。

★お楽しみ★ ランチメニュー

8月8日にはバイキング形式でのランチ会を行いました。そうめんやテーブルロール、手巻き寿司、イカリングやミニカツ、豊富なデザートも。思い思いの食べ物を取り、召し上がられました。



Happy Father's Day

父の日



父の日では、お祝いと特別なお食事を準備致しました。ネギトロ丼にはとろろを添えて、デザートにはメロン。ネギトロ丼をおいしそうに頬張る姿や笑顔が見られました。ささやかではありますが、お祝いのプレゼントもお渡ししました。



今季の喫茶店

ケアハウスで行われる月に1回の喫茶店。たくさんの方々が訪れて下さいました。甘酒やお団子を談笑しながら召し上がられる姿や、ゆったりとコーヒーを嗜む方も居られ、どの方も自由に過ごされたようでした。



ひとこと

今年の夏は例年に比べ酷暑でした。涼がとれますように、喫茶店では冷たいアイスを、ランチ会では豪華なお食事を御用意致しました。

気付けば今年も残りわずか。同じように来る夏ではありますが、同じ夏は二度と訪れません。過ぎ去っていく時間を感じながら、残りわずかな夏を、皆様と共に過ごそうと思ひます。

ケアハウス生活相談員 荒川由美子

